

## 平成31年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業計画

### 1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

### 2 沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足、平成26年4月1日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行。

### 3 事業活動の基本方針

印旛沼の水質浄化および流域の環境保全を推進するため、印旛沼流域住民の力を結集し、環境保全活動等の活性化と啓発を図る。

### 4 重点目標

印旛沼および流域内河川等で関係機関によって実施された各種環境調査の結果をとりまとめ、精査するとともに、補足的な調査を行い、その成果を印旛沼の環境保全活動に資する。

また、印旛沼の環境保全に関する印旛沼流域住民の意識高揚のための啓発活動とともに市民による広範な活動を支援する。

### 5 事業内容

#### (1) 印旛沼および流域における調査研究（定款第4条第1項第1号関係）

##### ① 水質調査結果および各種環境情報等の収集と取りまとめ（継続）

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流域市町が実施した水質等に関する調査結果および印旛沼等の環境保全に関わる各種情報（流域市町が対処した環境に関する問題・苦情等、助成した事業や水環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめる。それらの結果は、基金が隔年発行する「いんば沼白書」等に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

##### ② 外来生物等に関する調査研究（継続）

環境保全に対する流域住民への効果的な啓発活動や関係機関への情報提供等に資するため、印旛沼に繁茂するオニビシや特定外来生物のオオフサモおよびナガエツルノゲイトウの分布調査等を行う。なお、調査にあたっては、必要に応じて印旛沼および流域で調査・研究に携わっている専門家や、市民団体等の協力を得て行う。

(2) 講習・学習会および観察会（定款第4条第1項第2号関係）

① 講習・学習会等への講師派遣（継続）

流域内・外の市町、学校（法人）および市民団体等が主催（共催）する印旛沼に関する学習会、講演会および講習会等の講師の依頼を受け派遣する。

② 観光船による印旛沼観察会（継続：印旛沼水質保全協議会と共催）

印旛沼流域内の住民を対象に観光船で沼および周辺の自然を観察する。

- ・対 象：印旛沼流域内の住民
- ・募集人数：120名程度
- ・開 催：平成31年7月25日（木）〔予備日：7月26日（金）〕
- ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員、他

③ 親子で学ぼう印旛沼（継続）

関係市町在住の親子を対象として、印旛沼について理解を深めるため、観光船で沼および周辺の自然を観察するとともに、簡易な水質検査の解説と実習を行い水について理解を深める。

- ・対 象：各市町在住の小・中学生と保護者
- ・講 師：（公財）印旛沼環境基金研究員

ア) 佐倉市と共催

- ・開 催：平成31年5月11日（土）
- ・募集人数：60名程度

イ) 酒々井町と共催

- ・開 催：平成31年8月予定
- ・募集人数：40名程度

ウ) 印西市と共催

- ・開 催：平成31年8月予定
- ・募集人数：40名程度

エ) 八千代市と共催

- ・開 催：平成31年8月予定
- ・募集人数：40名程度

オ) 四街道市と共催（新規）

- ・開 催：平成31年8月予定
- ・募集人数：40名程度

④ 印旛沼環境基金公開講座（共催：佐倉市）

印旛沼について広範に亘って知識を習得し、印旛沼流域住民の啓発に寄与できる人材を養成するため、延べ7回の講座を行う。

なお、全講座を修めた受講生には、修了書を授与する。

- ・名 称：平成31年度いんば沼公開講座－いんば沼学・人材養成－
- ・対 象：一般市民（一講座当たり募集定員：100名）
- ・場 所：ミレニアムセンター佐倉 ホール

ア) 第1部 歴史・文化

第1回 「江戸期の掘割工事」・対談

平成31年6月1日(土)14:00~16:30

講師: 鏑木 行 廣 (元成田高等学校教諭)

第2回 「明治~昭和期における洪水と対策・開発」

平成31年7月6日(土)14:00~16:30

講師: 本 橋 敬之助 ((公財)印旛沼環境基金上席研究員)

第3回 「文化」・対談

平成31年8月3日(土)14:00~16:30

講師: 内 田 儀 久 (佐倉市史編さん委員)

イ) 第2部 環境

第1回 「水環境の変遷と原因」

平成31年9月7日(土)14:00~16:30

講師: 本 橋 敬之助 ((公財)印旛沼環境基金上席研究員)

ウ) 第3部 生きもの

第1回 「鳥たち」・対談

平成31年10月5日(土)14:00~16:30

講師: 浅 野 俊 雄 ((公財)日本野鳥の会会員)

第2回 「魚たち」・対談

平成31年11月2日(土)14:00~16:30

講師: 平 田 淳 一 (千葉県水産総合研究センター  
内水面水産研究所主任上席研究員)

第3回 「水草たち」・対談

平成31年12月7日(土)14:00~16:30

講師: 林 紀 男 (千葉県立中央博物館主任上席研究員)

(3) 啓発・宣伝 (定款第4条第1項第2号関係)

① ホームページの公開 (継続)

インターネットを利用して、当環境基金の事業等についての紹介と同時に、印旛沼および流域の環境保全等を一般市民に対して啓発するとともに、他団体との情報交換を行う。

② 「水辺の風景画コンクール」の開催 (継続)

印旛沼流域の小・中学校の児童および生徒が流域内外の湖沼や河川等で見た、触れたなどの体験を描いた水辺の風景画を募集・審査し、選考された作品を佐倉市立美術館で展示(展示期間:平成31年10月24日~27日)する。

さらに、優秀な作品については表彰し、流域の市町を巡回展示して一般市

民の方々に広く鑑賞してもらおう。

《表彰式》

・日 時：平成31年10月27日(日)14:30～15:30

・場 所：佐倉市立美術館4階ホール

③ 「印旛沼連携プログラム」サポート企業の登録等（継続）

千葉県「印旛沼連携プログラム」にサポート参加希望の企業の登録等に関する事務を行う。

④ 刊行物等の編集・発行（継続）

》》 雑誌「いんば沼」第40号(記念号)

・発行部数：A4判12ページ 4,000部（委託印刷：毎年）

・発行予定：平成31年5月頃

・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般市民

》》 小学生向け印旛沼環境学習用教材

学習目的に応じ、編集する。

・発行予定：随時

・配布先：講習・学習会および観察会の参加者、環境関連行事参加者

⑤ 刊行物等の頒布（継続）

環境基金編集・発行の刊行物等を県や市町およびその他の関連機関が開催する環境関連行事等において無料配布（雑誌「いんば沼」、「いんば沼のはなし」など）、または有料で頒布（隔年版「いんば沼白書」、「印旛沼－自然と文化－」など）する。

(4) 環境保全団体等への助成（定款第4条第1項第3号関係）

① 助成金の交付（継続）

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学および市民団体等を対象に助成金を交付する。

② 助成事業成果報告会の開催（継続）

助成金を交付した団体を一堂に会し、事業成果報告会を開催し、講師から講評していただき、今後の印旛沼における更なる環境保全活動の向上に繋げる。

・日 時：平成32年1月17日(金)9:15～

・場 所：印旛合同庁舎2階大会議室

・講 師：未 定